

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 2月 26日

公表:令和 4年 3月 26日

事業所名 にじいろNOVA

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	4	公園への外出など支援分散をして対応している	適宜レイアウトの見直しや、コロナ禍で密にならないよう活動場所の分散を行っていく
	2	職員の配置数は適切である	7	2		支援分散の際には、活動ごと利用者様の人数や顔ぶれに合わせて職員を配置していく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	3		階段を上ることが難しい事情がある場合はエレベーターを個別にご案内する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1	人事評価制度による面談実施などPDCAサイクルに参画している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	社内研修・所内研修に積極的に参加している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	S-M社会生活能力検査、Vinland 等のアセスメントツールを活用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	毎日の打ち合わせの際に調整を行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	利用者様にイベントアンケートをとるなどして、幅広く意見を取り入れるようにしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1		来所するご利用者様に応じて個別支援計画を基に課題を柔軟に設定していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	子ども商店やバントリーなど、社会貢献活動を取り入れ、支援内容とも関連付けを行っている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	2	情報共有シートの作成と活用など、支援終了後すぐに打ち合わせできなくても、必要な情報を共有する仕組みを作り、実行している	情報共有シートを積極的に活用するとともに、支援終了後に打ち合わせができない場合、遅くとも翌日の朝のミーティングで共有を行う
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	2		記録物に関する所内研修を行い、誰でも正しく記録がとれるような体制をつくる
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	1		モニタリングに全職員が関わられるようにしていく
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	0		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0			

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	2	現在該当者なし今後医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は連絡体制を整えていく	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3	該当する事例なし今後情報共有が必要なケースが出た場合は対応する	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	4	今後、ニーズに応じて対応していく	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	全職員が平等に研修に参加できるように機会を設けていく	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8	0	子ども商店やバントリーで機会を設けている(今後、より交流を活性化させていきたい)	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2	保護者の対応力を向上させるために、ペアレント・トレーニングに関する所内研修などを行う	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	一部の職員だけが理解しているという状況にならないよう、所内研修を行う	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	0	夏と冬に1回ずつ保護者会を開催した	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	HUGマイページや公式LINEを活用して発信を行った	HUGの活動記録など、全員が情報発信のツールを活用できる体制を整える
	35	個人情報に十分注意している	8	1		基本的な個人情報の取り扱い方法について所内で再度確認するとともに、取り扱い方法が曖昧なものについては、ケース検討を行っていく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	0		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2		整備済みのものについては、順次周知していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		長期休暇を中心に、定期的に非常災害に備えた訓練を行っていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1	身体拘束にかかる研修を全職員が受講している	身体拘束が必要な可能性のある利用者については、個別支援計画に明記の上、実際に行う場合の報告フロー等と併せて全員に周知する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1		アレルギーの有無や対応について、おやつ配慮が必要な場合など漏れなく情報共有を行っていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0		